

研究課題名	レセプトデータベースを用いた就労者のメンタルヘルスと治療コスト分析
研究の意義・目的	近年、働く人々の心の健康が、大きな話題となっています。うつ病などの心の病は、仕事の効率を下げたり、職場での問題を引き起こしたりします。また、長期間の休みや早期退職につながることもあります。これらの問題は、会社や社会にとっても、金銭面で大きな負担になり、企業や社会の医療費が増える原因の一つとなっています。職場で心の不調を感じたとき、産業医や保健師は、精神科や心療内科を受診するように勧めます。しかし、どの医療機関を選ぶべきか、どの治療を受けるべきかについての情報が十分ではありません。そのため、 unnecessary 治療費がかかってしまうこともあります。そこで、私たちはこの研究を行います。レセプトデータベースを使って、働く人々の心の健康の問題、病名、受診した医療機関による治療費の関係を調べます。この研究により、心の健康を守りながら、治療費を減らす方法を見つけることができる可能性があります。これは、より良い職場環境を作り、経済的な負担を減らすことにもつながります。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~ 2029 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	18 歳から 64 歳の健康保険組合に入られている方で、2023 年 1 月~2024 年 1 月の間に精神科・心療内科病院、もしくは診療所を受診し、精神疾患に属する診断を受けた方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	データベースに登録されている、下記項目を本研究に使用させてください。 加入者年齢、性別、本人家族、加入年月・離脱年月、特定健診（体格指数、収縮期血圧、拡張期血圧、中性脂肪、LDL コレステロール、GPT、HbA1c）、診断（診断コード）、薬剤（ブランド名、成分名、ATC コード、1 日投与量、投与日数）、診療行為名（検査、精神科専門療法、処置、リハビリテーション）、受診回数・入院日数、施設情報、総医療費
試料・情報の 提供を行う機関の名 称及びその長の氏名 (提供元について)	機関名：株式会社 JMDC
提供する試料・ 情報の取得の方法	株式会社 JMDC は業務委託に基づきサービスを提供することに付随して、別途第三者提供（二次利用）の許諾を得ており、その許諾を得たデータを我々が取得いたします。

<p>試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称</p>	<p>この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科神経精神医学のみで行います。 【研究責任者】岩崎 進一</p>
<p>本研究の 利益相反</p>	<p>利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
<p>研究に協力を したくない場合</p>	<p>情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。</p>
<p>連絡先</p>	<p>大阪公立大学医学部附属病院 神経精神科 担当者氏名：岩崎 進一 メールアドレス：mentalhealth@outlook.com</p>